

警察署協議会会議録

八女警察署協議会

開催年月日時	令和3年4月28日 午後4時30分 から 令和3年4月28日 午後5時30分 まで	
開催場所	八女警察署 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下10名
	警察署	署長、副署長、会計課長、生活安全課長 黒木警部交番所長、刑事課長、交通課長 警備課長、事務局
議事概要		
<p>【感謝状贈呈】</p> <p>【退任者挨拶】</p> <p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>警察の方も治安を守りながらの災害対応は、大変であると思うが、この時期を乗り越えてもらい警察署管内の皆さんの安心のために、一生懸命頑張っていたきたい。今回退任された委員からは、いつも違った視線からの意見をいただき大変勉強になった。本日は、屈託のない意見を出していただき、スムーズに会議が進むよう協力をよろしく願います。</p> <p>【八女警察署長挨拶（要旨）】</p> <p>コロナ禍で感染状況が悪化し、不安定かつ非常にもどかしい生活を余儀なくされる社会情勢の中、会長を始め委員の皆様方には、平素から警察活動に深い御理解と力強い御協力をいただいております、深くお礼申し上げます。地域の実情に詳しい皆様には、我々警察の活動への御理解と管内の実情を踏まえた八女広川管内の一層の安心安全へとつながる忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>私は常々、署員に対し、「コロナで心が折れたりひるんだりすることがないように。」と語り、私自身今年度もまた、しっかりと気を引き締めて署員を引っ張り、元気に前向きに</p>		

議 事 概 要

本来の警察業務を全うしていく所存である。本日は、どうぞよろしく願います。

【委嘱式】

【新規委嘱委員挨拶】

【幹部紹介】

【警察活動に関する報告】

【署長情勢報告】

警察署の各種活動、懸案事項について説明

- 暴力団対策について
- 災害対策について（懸案事項）
- 非常招集訓練の実施状況
- 対策本部の立ち上げ訓練状況
- 術科訓練等の各種訓練実施状況
- コロナ感染防止・感染拡大防止措置状況
- 非常時の護送訓練状況
- 士気高揚施策の実施状況
- 若手、女性の活躍促進施策について

【質疑応答】

- 委員から「先ほど、交通課長から「国道3号線の件で久留米署と佐賀県警とは連携を取り合っている。」と話があったが、上辺春は事故も多く、熊本県警の山鹿署との連携はどのようなになっているか。」旨の質疑があり、交通課長から「御質問のとおりであり、県境の国道であるため、今後、山鹿署とも連携を取っていきたいと考えている。」旨の回答があった。

署長から「着任時から、隣接する警察署とは、山鹿署も含め署長同士連携を取り合うことを確認しており、当然に、しっかりと連携していく。」旨の回答があった。

- 委員から「飲酒運転の110番通報訓練があったとのことだが、実家が飲食店をしており、たまに飲酒運転をしそうな方がいた場合の通報方法についてのマニュアルやチラシなどがあるか。」旨の要望があり、交通課長から「訓練時の配布資料があり、その他にも、

議 事 概 要

交通講話など1分程度で説明できる内容も準備している。今回の訓練の想定は、信号が青信号になっても発車しない車がいるというものであった。疲れていたのか、飲酒運転をして寝ていたのか、この事例が多々あるためあえて、そのような訓練を実施した。通報電話のチラシも作成している。後ほどお渡しする。」旨の回答があった。

署長から「どうしようかと思ったら直ぐに電話をいただきたい。」旨の教示があると、別の委員から「飲酒運転の110番訓練に参加したが、この程度でも通報して良いのかと安堵感を感じた。」旨の意見があった。

○ 委員から「通報したとして、警察はすぐに対応ができるか。」との質疑があり、交通課長から「今回実施した飲酒運転通報訓練は、実際に110番通報した時と同様な、リアルタイムの状態で行った。警察署に電話を掛けられる方が多いが、是非110番通報をしていただきたい。110番通報は、各警察署だけでなく、執行隊や白バイにも指令ができ、いち早く警察官を現場に派遣できる。重要事件・飲酒運転の時は躊躇^{ちゅうちよ}せず110番通報をお願いしたい。」旨の回答があった。

○ 委員から「県警本部では、今どこにパトカーがいるのかとか位置を把握しているのか。」旨の質疑があり、黒木警部交番所長から「把握している。」旨の回答があった。

○ 委員から「黒木の藤の花の近くのSL公園前の横断歩道は、藤の花まつりなどのイベント時、可能であれば、歩車分離の押しボタン信号にしてもらえれば、渋滞が解消すると思う。」旨の要望・意見があり、交通課長から「通行量的に、歩車分離は現実的に難しいが、イベント時に別の交通規制ができるか検討する。」旨の回答があった。

○ 委員から「警察の方々には災害対応へ準備していただきありがたい。八女市としては、先日、法律の改正により、避難勧告が避難指示に一本化されたことを受けて、コロナ対策をしながら分散して避難していただくなど、災害対応については準備していくことにしている。コロナワクチンの接種は、5月9日から、公立八女総合病院での受付が始まる。国からワクチンの提供をいただければ進める準備を整えているところである。」旨の説明があった。

○ 委員から「先日の火災現場へは、迅速に駆けつけていただき、非常に感謝している。八女署の方々の現場での、はつらつとした動きや火災現場から引き上げられる際の礼

議 事 概 要

儀正しい挨拶は、特に感心させられた。コロナ禍ということで、活動が非常に制限されており、人を相手にする仕事で色々な心配がある中での警察活動には、御苦労があると思う。」旨の意見がなされ、さらに「2点お尋ねしたい。1点目は、精神錯乱者の保護には、薬物関係者は含まれていないということだが、例えば薬物使用で錯乱状態という事案はあってないのか。」旨の質疑があり、刑事課長から「薬物での保護はあっていないが、薬物使用者の検挙はしている。」旨の回答があった。

さらに委員から「広川ダムの付近で草刈りをする人から、「鳥が種を運んできたのか、芥子のような花がぽつぽつ咲いているのを見かけるが、対処方法が分からない。」という話を聞いたが、このような場合はどうしたらいいのか。」旨の質疑があり、刑事課長から「警察署には薬物担当の刑事がいる。薬物でも芥子の花は、刑事が現場に行って自生か、栽培かなど、違法性を判断するため、そのままの状態で通報していただきたい。」旨の回答があった。

続いて委員から「2点目は、自転車の件になる。原付の50CCについては30キロという制限があるが、速い自転車はとんでもない速度で走行するため、事故等が増えているのか。」旨の質疑があり、交通課長から「八女の管内では、特に自転車事故が増えているという状態ではない。自転車は直接身体に危害が及ぶ可能性が高い乗り物であり、事故になれば、当然、自分も相手も危害を受ける。各学校と協力し、自転車の指導を行っており、今後も継続していく。」旨の回答があった。

- 委員から「年配の方が高価な（スピードが出るタイプの）自転車に乗って走っているのをよく見かけるが、危険性はどうか。」旨の質疑があり、交通課長から「自転車は免許制度外であり、ルールの周知は難しいが、ケースバイケースで悪質性や危険性、違反の態様を考えて検挙若しくは警告をやっている。」旨の回答があった。

【閉会】

以上をもって会議を終了した。